



ひ づめ

日詰城址

(樋詰城址・樋爪城址)

縄張図

城主樋爪氏は早くから井原に居城を持つた小領主で、鍋谷城主井原元帥の子兵部小輔四郎兵衛が養子となり毛利・尼子の郡山合戦で郡山城下大田口で討死(1540)し絶えたといわれる。鎌倉時代(文永年間)に新宮神社の社殿を再建したと伝えられる。

本城址は三篠川と栄堂川の合流点を見下ろす丘陵上に位置し、郭は二段に造られた主郭から東に延びる尾根上に一つ、南へ延びる尾根上に三つの郭を置き、南東斜面側に二つの小郭を配置している。また主郭背部は堀切を隔てて大小4つの郭を置いている。

参考文献「山城」「日本城郭体系」